

## 雌阿寒岳

### ○雌阿寒岳周辺の地殻変動

地殻変動がマグマ性であるかどうか判断するためのポイントとして、以下を考える。

- ・ 地殻変動以外の火山現象との相関
- ・ 広域性（時間変化パターンの同一性）
- ・ 変動の空間分布の系統性

以下にデータを示すように、いずれも成立しているように見え、やや深部のマグマ性膨張が地殻変動の原因である可能性が高い。

### 雌阿寒岳（噴煙高度、火山性地震数、距離変化）

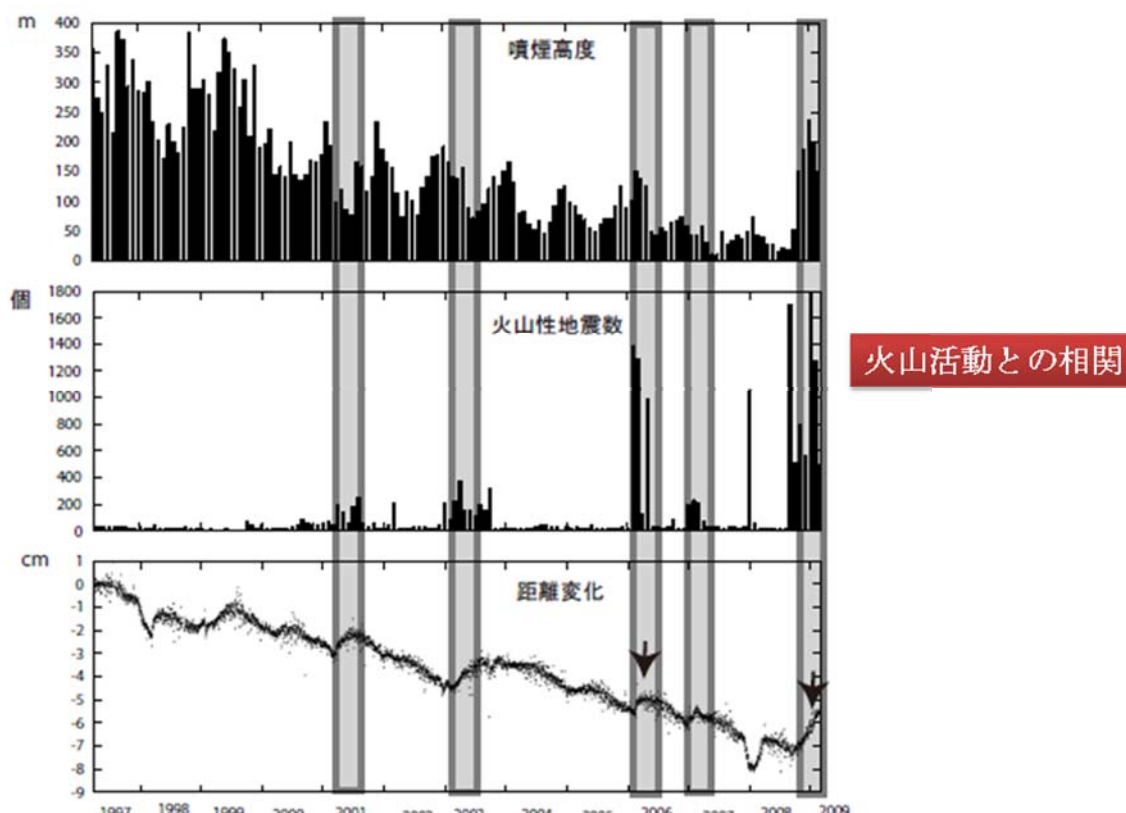


図 1 噴煙高度、火山性地震数、地殻変動（阿寒 2 - 阿寒 1 間の距離） [気象庁・国土地理院]  
雌阿寒岳

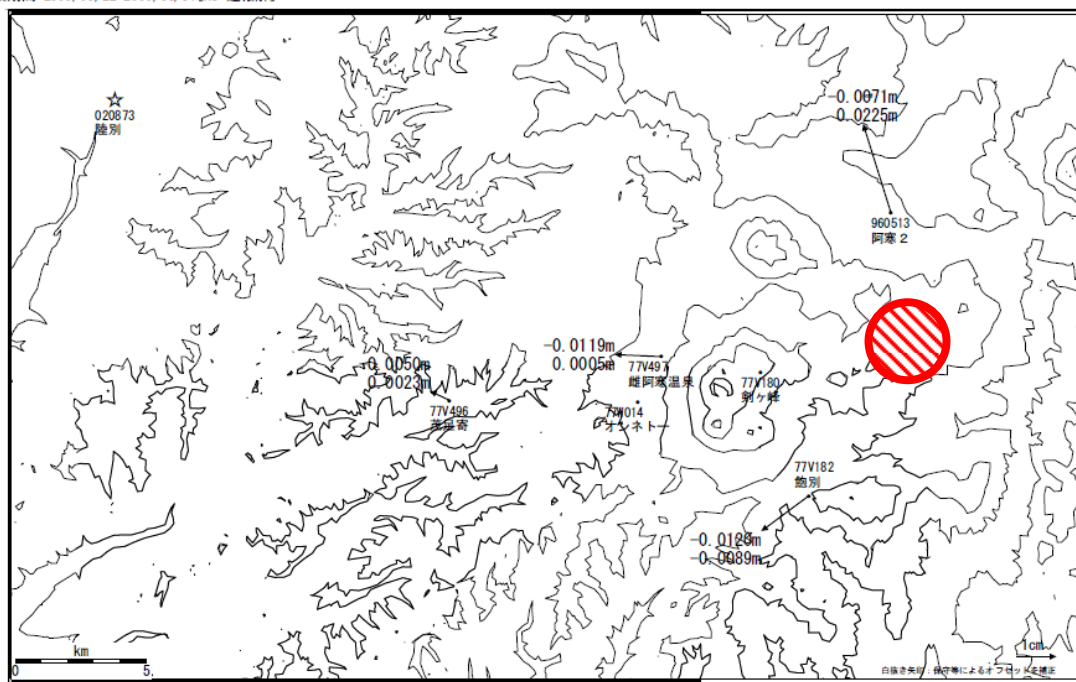
雌阿寒岳

雌阿寒岳周辺の地殻変動

暫定

地殻変動（水平）

基準期間：2008/09/12-2008/09/21 [F3:最終解]  
比較期間：2009/05/22-2009/05/31 [R3:速報解]



★固定局：陸別(020873)

図 2 雌阿寒岳周辺の水平地殻変動分布 (国土地理院・気象庁の統合解析結果)

陸別を固定したベクトル図では、阿寒2が北北西方向に、雌阿寒温泉が西方向に、罌別が南西方向に移動しており、赤丸付近を中心とした放射状の変動分布に見える。阿寒2が顕著に隆起していることも今回の変動の特徴である。

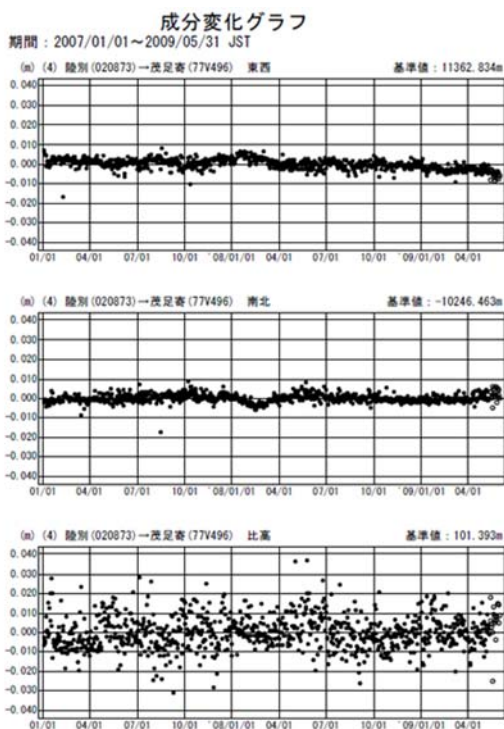
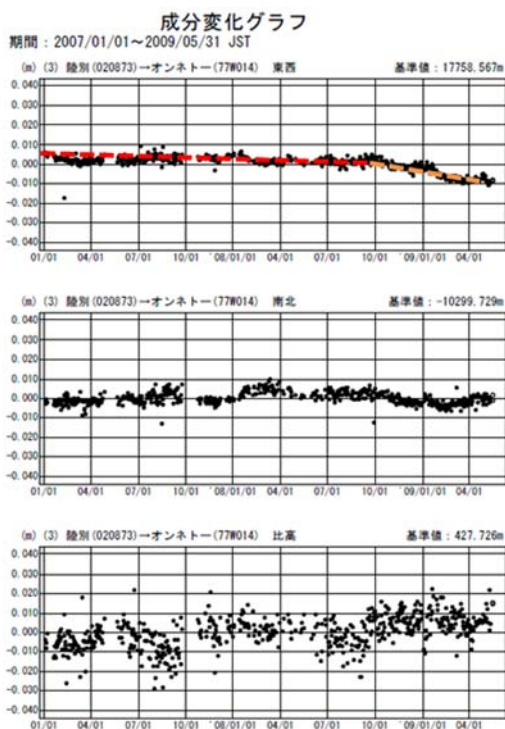
以下において、国土地理院と気象庁の統合解析結果について、陸別を固定してみた東西、南北、上下の各成分の時系列を示す。阿寒2、オンネトー、罌別において、2008年10月頃から地殻変動の傾向が変化の様子が共通に現れている。

したがって、この変動は、同一の原因により広域に現れている現象と考えられる。

なお、ここで使用した解析結果は、噴火予知連絡会事務局を經由して、国土地理院・気象庁から提供を受けた。着色した線は、北大で加筆した。

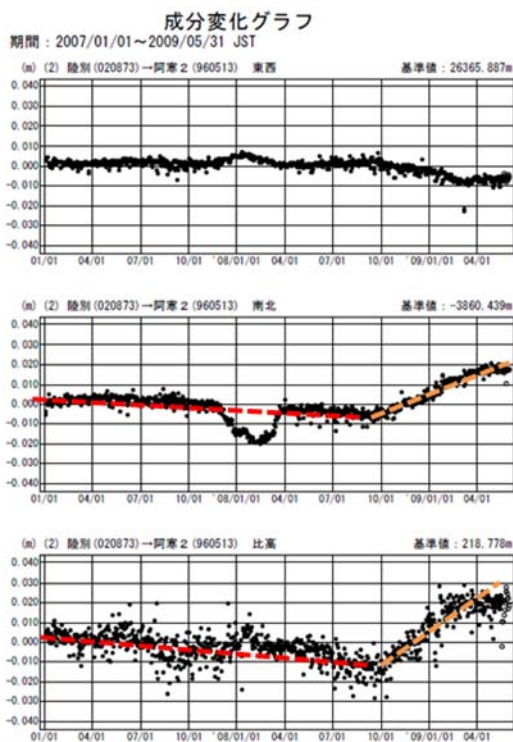
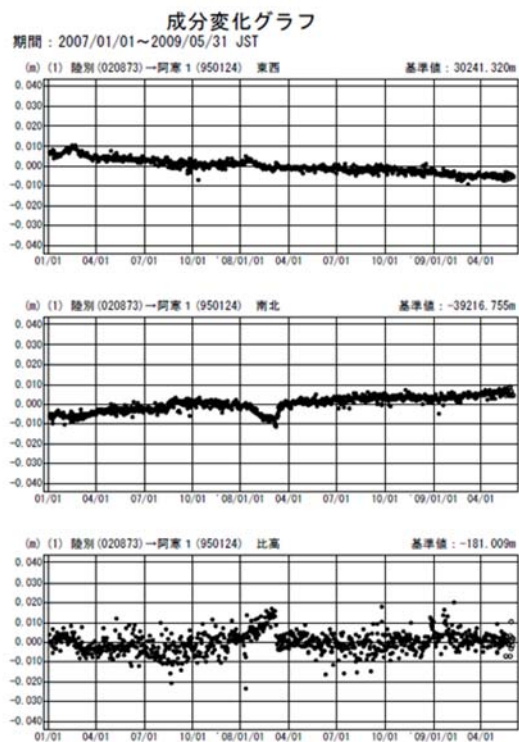
雌阿寒岳

雌阿寒岳



● ---[F3:最終解] ○ ---[R3:速報解]

国土地理院・気象庁



● ---[F3:最終解] ○ ---[R3:速報解]

国土地理院・気象庁

雌阿寒岳

雌阿寒岳

